



哲學研究

第參卷 第拾貳册

第三十三號

大正七年十二月二十一日發行

大正五年四月六日第三種郵便物認可

大正七年十一月二十七日印刷納本(每月一回一日發行)

新著紹介	彙報	心理學と客觀的方法(承前)	與義書と起信論(結完)	生命と思辨	ロダンに於ける肉體的と精神的
.....文學士 檜崎淺太郎文學士 羽溪了諦文學士 久保正夫文學士 植田壽藏

京都帝國大學文學部
京都哲學會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓八拾錢、前後二期ニ分テテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
寶嚴方治	

書記

ることを爲したのである。『哲人プルノー』に讀み入る彼れも又、殆ど確實に、プルノーに生き、この書の著者に生き、さうして彼の底心に生きつゝ、永遠に生き行くものを喚び醒すことであらう。京都丸太町寺町東、弘文堂書房發行。壹圓二十錢(植田壽藏)

寄贈書籍雜誌

文學に現はれたる(平民文學時代の上)津田左右吉氏著 洛陽堂
 我國民思想の研究
 哲學雜誌、思潮、丁西倫理講演集、心理研究、六合雜誌、東洋哲學、無盡燈、東亞之光、六條學報、早稻田文學、學校教育、教育内外教育評論、教育研究、教育界、教育時論、東京教育、静岡縣教育、岐阜縣教育、愛知教育雜誌、長崎縣教育會雜誌、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、藝佛教育、宮城教育、愛媛教育、山形縣教育、秋田縣教育雜誌、文化運動、現代教育。

前 號 目 次

奧義書と起信論……………	文學士	羽	溪	了	諦
ライブニッツ哲學の意義……………	文學博士	田	邊	元	
デカートの規則論に現はれたる批判論的思想(完結)……………	文學博士	朝	永	三	十
心理學と客觀的方法(承前)……………	文學士	橋	崎	淺	太
個別的因果律に關して更に田邊博士の教を俟つ……………	文學博士	左	右	田	喜
彙報——新著紹介……………					一

定規文註

- ◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下され度候
- ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

廣告料

冊	冊	冊	冊	冊	冊
一	二	六	十	十二	十二
冊	冊	冊	冊	冊	冊
金貳拾五錢	金壹圓	金壹圓五拾錢	金壹圓	金壹圓	金壹圓
郵	郵	郵	郵	郵	郵
稅	稅	稅	稅	稅	稅
壹	壹	壹	壹	壹	壹
錢	錢	錢	錢	錢	錢
受	受	受	受	受	受
一	一	一	一	一	一
頁	頁	頁	頁	頁	頁
金拾圓	金拾圓	金拾圓	金拾圓	金拾圓	金拾圓
半	半	半	半	半	半
頁	頁	頁	頁	頁	頁
金六圓	金六圓	金六圓	金六圓	金六圓	金六圓
圓	圓	圓	圓	圓	圓

告會

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込下度候
- 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會
文科大學内 振替口座大阪參〇六六參番

賣捌所

- (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、上田屋
- (京都) 寶文館
- (大阪) 盛文館
- (神戸) 寶文館

發賣元

東京市日本橋區本石町三丁目
大阪市東區淡路町四丁目

發行所

東京市日本橋區本石町三丁目
(振替口座東京二八〇番) 寶文館



- 右代表者 寶嚴方治
- 編輯者 京都帝國大學文科大學内 京都哲學會
- 發行者 大葉久吉
- 印刷者 青柳十一郎
- 印刷所 秀英舎第一工場

大正七年十二月二十七日印刷納本
大正七年十二月一日發 行

第三十三號

第參卷 第拾貳册

◀ 著名の讀必下刻 ▶

高田保馬著

最新刊

社會學的研究

布裝壹冊
定價金貳圓
送料金二十錢

著者、社會學の研鑽に従事せらるゝこと既に十年、常に斯學の純理に没頭して、其發達の趨勢に後れざらんと努力せられたり。本書は其間に成れる苦心の勞作十二章を收む。冷靜氷の如き理論に包むに、人類の愛、詩的情熱を以てする所、一卷の特色にして、又充分に著者の學風を味ふに足るべし。特に又大戰の終結と共に、世界に於ける社會組織の變革將に近からんとす、此時勢の必要に應じて、社會の根本的性質を明かにし、社會的思潮の眞髓を味はむとする人士にとりては、最も有益なる大文字なり。

本書の要目

一一三五四六

一 社會進化論の性質
二 社會法則の性質
三 統計的方法と歸納法
四 生死減少逆進行の法則
五 貧富と出生率
六 分離論

七八九十一

七 社會的定量的法則
八 分業について
九 家族の將來と社會の團結
十 資本家的集積說の研究
十一 優生學是非
十二 現代文明の迷妄—生産政策の否定